

令和2年度1学期始業式校長式辞（令和2年4月8日）

おはようございます。今日から学校が再開され、新年度を迎えました。3年生、2年生の皆さんの今年度の具体的な目標は何ですか。また、その目標の元になる目的・高い志・夢は何ですか。

私は、当たり前と考えていた教育活動が新型コロナウイルスと闘うために、やむを得ず実施できない今、改めて朝日高校がなぜ必要なのか考えてみました。

思い出して下さい。皆さんは2年前あるいは1年前に、高校入試を突破してこの朝日高校に入学しました。本校が高校入試のときに求める生徒像は次の三つです。

- 基本的な生活習慣・学習習慣が身に付いている生徒
 - 学習意欲があり、自ら進んで学んでいこうとする姿勢を持ち続けられる生徒
 - 生徒会活動・部活動等に熱心に取り組んだ経験があり、入学後も様々な活動に積極的に取り組んでいこうとする意欲のある生徒
- そして3年間の高校生活を送った後、卒業時に次の三つの力を身に付けることを目指しています。
- 高い志を持ち、自ら成すべきことを考え、主体的にリーダーシップを発揮して新たな社会を牽引する力
 - 思いやりを持って他者を敬い、何事にも積極的に取り組み、周囲と協力して課題を解決する力
 - 確かな読解力に基づいた柔軟な思考力と表現力を備え、高いレベルの知識と幅広い教養の獲得を目指して、主体的に学習に取り組む力

一人一人が重視する項目や到達点、表現は異なりますが、概ねこの三つに整理できます。改めて比べてみると、3年間でハードルが急上昇しており、大きなギャップがあります。

したがって、皆さん一人ひとりの卒業時の到達点と現状とのギャップを、生徒と教職員が一緒になって埋めていくことが、本校の存在意義となります。

思うように活動ができない今だからこそ、皆さん一人ひとりが自分の大きな目的・高い志・夢とそれを実現するための手段である具体的な目標を再確認して、真に必要な取組を選び取り実行する必要があります。我々教職員も目的につながるよう取組を工夫していきます。

新年度の皆さんの、不自由の中での自由を生き抜いていく日々と、一人一人の成長を期待します。

(県立岡山朝日高等学校 校長 竹田義宣)